

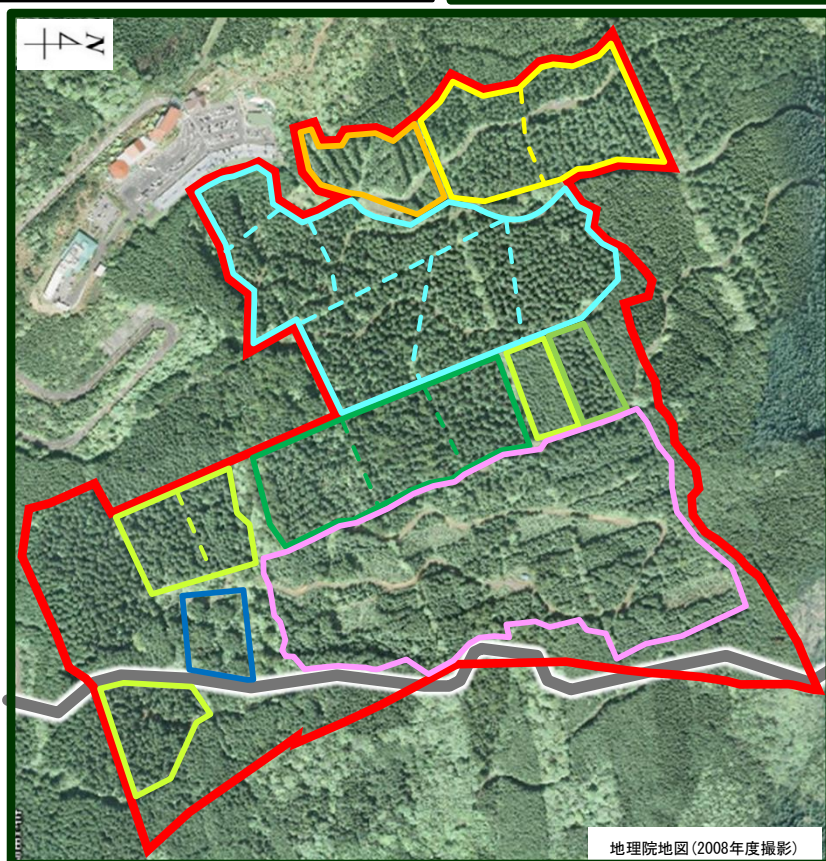
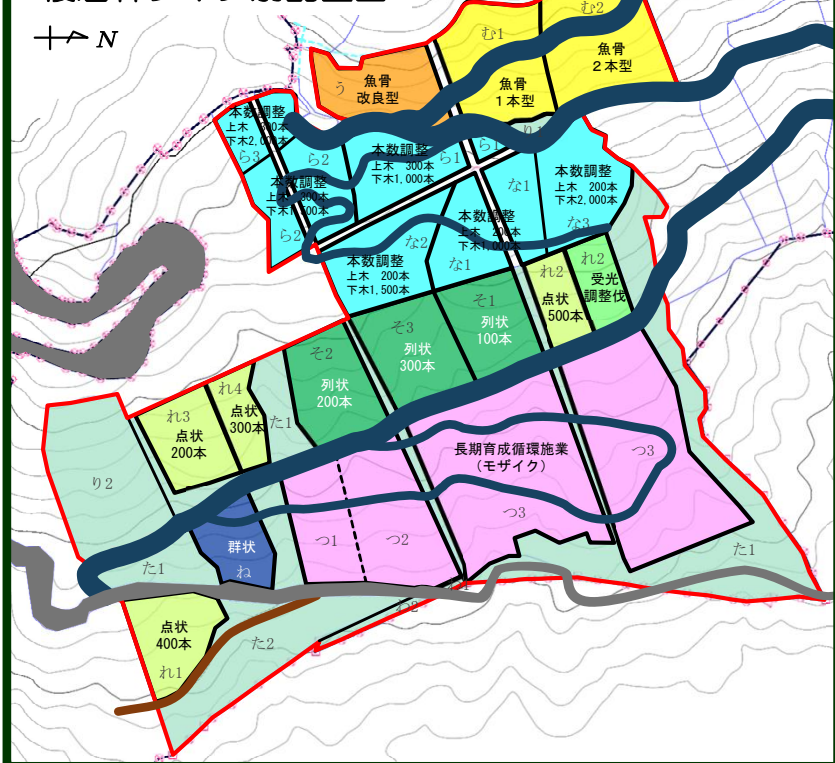


- 場所：茨城森林管理署管内 【筑波山複層林試験地：約27ha】
石岡市小幡 横道国有林223た1林小班 外
- 期間：平成21年度～
- 共同開発機関：森林総合研究所
- 概要：景観維持を必要とする施業対象林分の風致施業を体系化するため、
高齢級人工林の間伐などを実施して二段林などの施業を行う。
試験地設定年度：1977(S52)年
上木植栽年：1901(M34)年

8タイプ 19区画

- 1 点状保残区
(200・300・400・500)
- 2 群状保残区
- 3 列状保残区
(100・200・300)
- 4 受光調整伐区
- 5 長期育成循環施業区
(モザイク)
(旧带状保残区
(等高線状・直線状))
- 6 植栽本数調整区
(200・1000・1500・2000
300・1000・1500・2000)
- 7 魚骨型伐採区
(1列型・2列型)
- 8 魚骨改良型伐採区

複層林タイプ別配置図

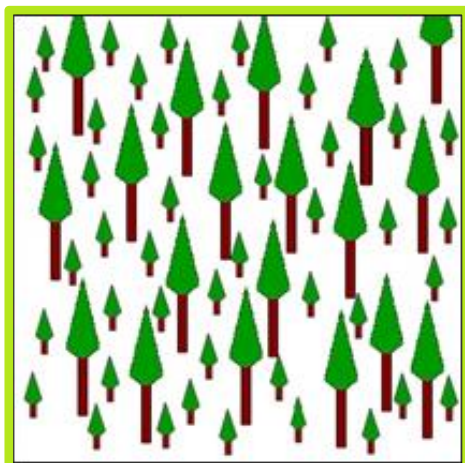


凡 例

- 県道
- 試験地区域
- 点状保残区
- 群状保残区
- 列状保残区
- 受光調整伐区
- 長期育成循環施業区
(モザイク型)
- 本数調整伐区
- 魚骨型伐採区
- 魚骨改良伐採区

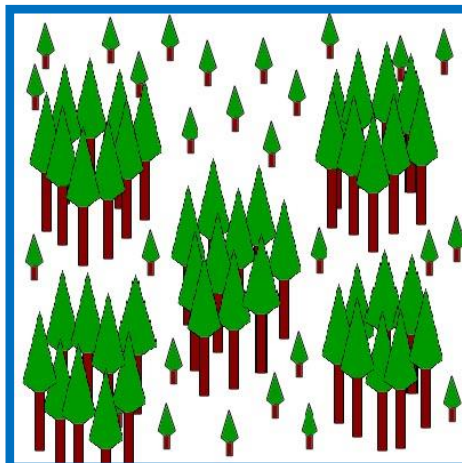
地理院地図(2008年度撮影)

複層林施業タイプ



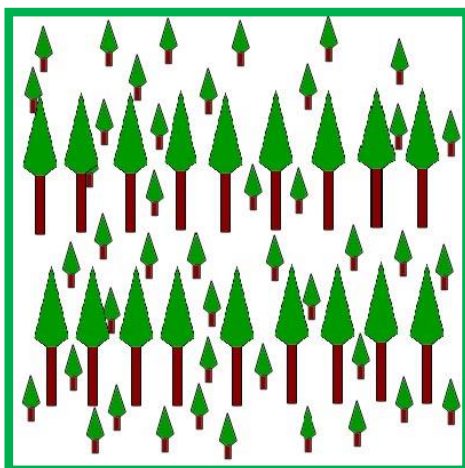
①点状
保残区

上層木を点状に残し下層木を植栽。



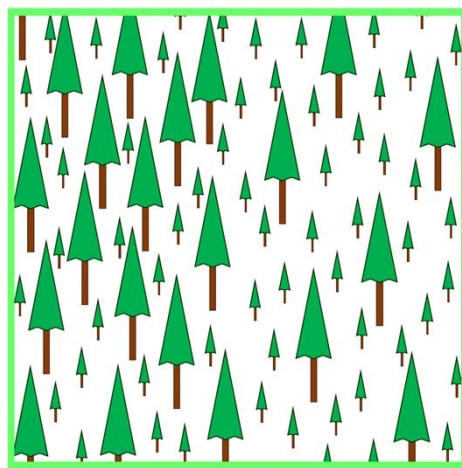
②群状
保残区

上層木の樹高を基準にほぼ円形の群に残し下層木を植栽。



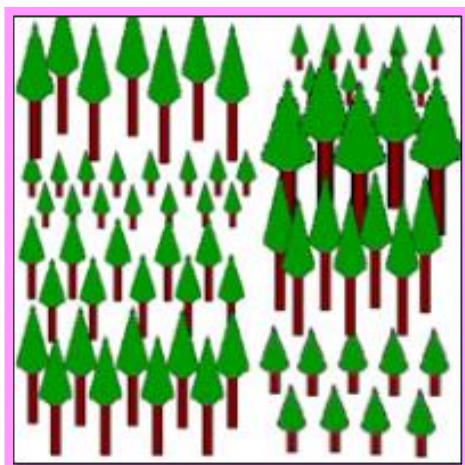
③列状
保残区

上層木を列状に残し下層木を植栽。



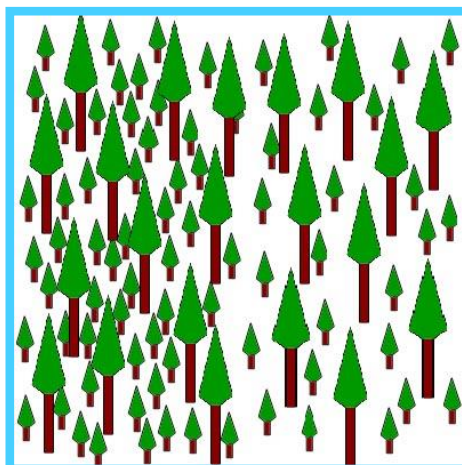
④受光
調整伐区

上層木の密度を照度調整のため、植栽10年後に間伐。



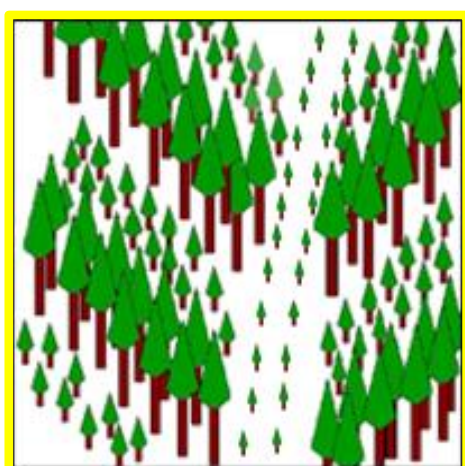
⑤長期育成
循環施業区

モザイク的に伐採と更新を繰り返す、高齢級の8段林へ誘導。



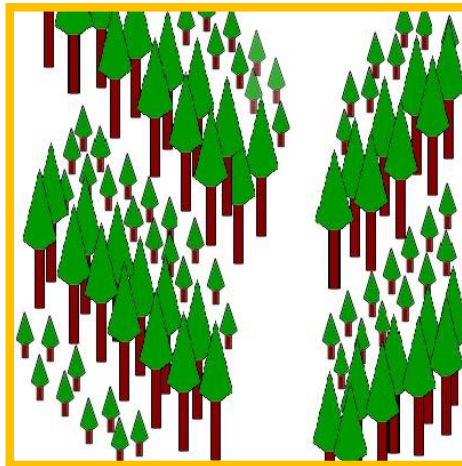
⑥植栽本数
調整伐区

上層木を点状に残し、下層木の密度を変えて植栽。



⑦魚骨型
伐採区

上層木を魚の背骨と小骨の形に伐採し、下層木を植栽。間伐ごとに背骨は移動。



⑧魚骨改良
型伐採区

上層木を魚の背骨と小骨の形に伐採し、下層木を植栽。背骨には下層木の植栽は行わず固定。